

愛育ながさき

Ai-iku-Nagasaki 45号

発行所/一般社団法人長崎県手をつなぐ育成会
発行者/竹内隆伯 発行日/令和2年7月13日
〒852-8104 長崎市茂里町3-24
長崎県総合福祉センター県棟4F408号
Tel:095-846-8730/Fax:095-846-8738
E-mail:info@ikusei-nagasaki.jp

コロナに負けないで

～「みんな、どうしてる？」県内各地の過ごし方～



き
輝らつと人

令和元年度を振り返る
事業と決算の報告

障害者110番事業～巡回無料法律相談会～

島原市 鯉の泳ぐまち

島原市 新しく工夫してよりよい支援を

2月中旬より新型コロナウイルスの影響が出始め、支援者が訪問することや出かけることについて、保護者が不安に思われ、相次いでキャンセルの連絡が入りました。通院支援では、病院側から家族のみの付き添いと呼びかけがあり、支援者との通院はできず、家族が不安になりながら通院となりました。

移動支援では、法人の方針で3密を避けることとし、利用者が楽しみにされている、買い物や食事やカラオケなどの余暇活動が行えなくなり、交通機関の利用を行わないようにしました。

ヘルパー間で、「今、何ができるか？」を話し合い、保護者にも利用者にも地域の方にも理解してもらえることを考え、「近隣の散歩」「外で楽しめる活動」「地域のためにできること」など、利用する皆さんがストレスを抱えたりすることがないように、個々にあった支援を行うようにしました。

「近隣の散歩」では、きれいな花が咲いていたり、休憩できる場所を新たに発見でき、「外で楽しめる活動」では、鯉の泳ぐまちで餌やり、川でサギを、白土湖でカモを見たりと、自然と触れ合えました。



また、シャボン玉で遊ぶなどの新しい活動を取り入れ、利用者の初めて見せてくださった表情に支援者も感動しました。

「地域のためにできること」として、近隣の散歩でゴミ拾いを行い、「きれいにしたい」と意識をもっていただくことができ、利用者が頑張っている姿に、またまた感動させてもらいました。(生活支援センター とも)



コロナに

～「みんな、どうしてる？」



↑その姿の描かれた紙を持ち歩けば疫病を退散してくれるという妖怪、アマビエ。↑

長与町 こんな自粛生活、しています

一般企業に障害者枠で製造業に従事している本人ですが、3～5月は月に7日ほどと出勤日数が激減。一方で、少しでも働く場所があることを喜びとしながらも、路線バス通勤で感染しないかという不安もありました。帰宅後の手洗いは、30秒ほどすることと聞いていましたが、どれくらいが30秒か本人はわかりづらいので、「ハッピーバースデイトゥーユー」をゆっくり歌いながら洗うことを励行しました。風邪をひいて咳がでるときでも嫌がっていたマスクは、慣れるまで時間がかかりました。

全国に緊急事態宣言が出た後は、不要不急の外出は控えなければならず、多くの時間を家で過ごしました。本人にとって耐える生活だったと思います。家ばかりだと息が詰まるので、手伝いも兼ねて近くのスーパーに買い物を頼んだりしました。

最も心配だったのが運動不足でしたので、食事用のテーブルで卓球をしたり、空いているグラウンドでバドミントンをしたりして過ごしました。自粛生活は楽しみが少なく、昼ご飯の終わった3秒後に「今日の夕食は何？」と聞かれて笑ってしまいました。

6月下旬になり、正直なところ、親も少し疲れてきたように思いますが、この戦いはワクチンと治療薬ができるまでは続くこととなります。あまり肩に力を入れ過ぎないで、しかし新しい生活様式で本人を励ましながら、家族で支えていきたいと思います。(長与町育成会 平野 孝子)

五島市 マスクの材料集めに苦心…達成感も

はまゆう福祉作業所は菓子箱折り作業がメインでしたが、2月頃より五島への観光客が激減したためお菓子が全く売れなくなり、作業が中断されてしまいました。

利用者の皆さんは自分が好きな絵画やぬり絵、本読みなど自主活動をしていたところ、今度はマスクが品薄状態となり、事業所でも四方八方かけずり廻りましたが入手できず、職員が中心となりマスクの製作に取りかかるも、次は材料のガーゼや布、ゴム紐などが手に入りません。それでも地元のお店に無理をお願いしたり、インターネットで材料の調達に走り回ったりと、職員の懸命な努力で利用者やその家族、職員などへ、一人あたり4~5枚ずつ配付することができました。

利用者は製作には携わっていないけれど、職員が作製してくれたカラフルなマスクを喜んでいます。



職員も「大変だった…、苦労したけれど、利用者や地域の方に貢献できて良かった」と満足しています。「利用者と家族を守らねば」という信念には、感謝の念を抱くとともに、素晴らしい経験ができたと思っております。4月以降もこの状態は続き、五島市社会福祉課から職員用に、社会福祉協議会、その他の団体・個人からも約600枚を受注、原価で提供できて、大変な感謝のお言葉も頂きました。

6月も中旬に入り、五島と長崎本土を結ぶジェット便やフェリー便、航空便も平常時に近い状態に戻りつつあります。私たちは、コロナ防止のために地域と共に「手をつないで」頑張ってきた貴重な経験を生かしながら、これからも地域社会の中で、日本全国で、そして世界中のみんなが一日も早く元の楽しい生活に戻れる日々が近いことを祈ります。(はまゆう福祉作業所 理事長 榎田悦男)

負けないで

県内各地の過ごし方~



長与育成会の城瑠奈子さんがお守りに描いてくれました。

佐世保市 TV番組でも取り上げられました

各事業所では利用者とそのご家族が感染した場合の大変さを思い、少し厳しい予防対策を取ることにしました。不要不急の外出禁止、特定警戒都道府県の方との接触の禁止(接触があった場合は2週間の出勤停止、通所の禁止)、利用者・職員やご家族の方の発熱時に、利用・出勤停止



NCC テレビ放送より

等をお願い文書を三度にわたり出させて頂きました。職員はオンラインで研修、マスクやアルコールなどの調達にも追われる毎日でした。きららでは、「地域貢献」を合言葉に「マスクがないなら作ろう!」とマスク作りに取り組むと、ご近所の方、遠くは諫早からも来所、手作りマスクを購入され、生産が追い付かないことに…その様子はKTNやNCCのニュースでも紹介されました。

利用者は「ゆうあいスポーツが中止で嫌だった」「どこも行けない」とか、「マスクをがんばって作りました」「手をきれいに洗います」など、さまざまな反応をされています。また、「重度知的障害の息子はこだわりが強く、マスクを一度もつけてくれません。引き続き家庭でも手洗いや消毒液等で予防し、気を付けていくしかないかなと思っています」という保護者もいます。長丁場となることも予想され、「新しい生活様式の定着」も言われています。第2波のリスクにも備える必要がありそうです。(多機能型事業所きらら・のびのび)

令和元（2019）年度事業報告

I はじめに

平成30年度（2018年度）に続き、今年度も台風などの自然災害による被害などが相次いで発生しましたが、各育成会より義援金のご協力を頂き、全国育成会連合会へ送金することができました。また、旧優性保護法による強制不妊手術の問題については、全国育成会連合会と連携して窓口を設置し、公的機関による障害者雇用の水増し問題については県内障害者団体で県障害福祉課及び人事課と意見交換をして要望を提出しました。

その一方で、厚生労働省の主催で「障害福祉従事者に対する共生社会の基本理念の普及啓発」事業の取組が始まったこと、「障害者文化芸術基本法」が制定され、国や地方自治体で障害者の文化芸術活動を進める計画作りが行われ、各地域で実施されるものと期待しています。加えて2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に「ユニバーサルな街づくり」と「心のバリアフリー」をさらに広めていく動きも活発化しています。これらの事は、障害のある人たちの地域での豊かな暮らしと人権や存在の価値を広く知っていただき共生社会に向けた良い機会になると考え、育成会でもこれらの動きを推進し活動を進めてきました。

こうした中、国の障害福祉サービスの動きとしては「障害者総合支援法の3年後の見直し」が「報酬改定」に伴い本格的に施行されています。県育成会としては、日中支援型グループホームや共生型サービスなどの新しい事業や、2021年3月までに市町あるいは福祉圏域に整備される地域生活支援拠点事業が、「親なきあと」も含め、私たちの安心・安全な地域生活にどのように作用するのか注視し、しっかり検証する必要があると考え、又村あおい氏をお迎えした「ながさき育成会フォーラム」において課題を取り上げるなどして検討してきました。

II 育成会の活性化に向けて

近年の、会員数の減少に対して、県育成会としては全国育成会連合会の「地域育成会活性化」事業の活用、当会事業である「家族支援プロジェクト」の実施、さらに今年度からは長崎市育成会が結成した障害啓発キャラバン隊「長崎よかよか隊」の協力を得、この活動を県下の各地域における実施により、障害の理解・啓発へ繋がるよう努めると共に、地域育成会の活性化へつながる活動として、大きな反響と一定の成果を得ました。

また、障害のある本人が「知る見るプログラム」を体験することで、自ら意思を形成し、自分の思いを表出すること、そして意思決定へつながる活動となるよう努めて、参加者の中では定着してきました。また、意思の形成や表出が難しい人たちに対しても、人としての尊厳を守り互いに尊重しあえる仲間作りを目指していきたい。これからも本人部会がさらに発展すること、未結成の育成会が結成に向け活動が始まることを目指して活動しました。

III 実施事業抜粋

1. 【令和元年度定期総会】 令和元年 6月15日(土) 長崎市原爆資料館ホール
議案議決終了後、障害者のスポーツ・芸術・文化活動を実施する人を紹介しました。
2. 【第41回長崎県ゆうあいスポーツ大会】 前日当日雨のため中止
【ピアカウンセリング事業】「知る見るプログラム」研修 令和元年 7月13・14日(土日) 参加者 47名
3. 【ながさき育成会フォーラム】令和元年 2月1日(土)長崎市 長崎県総合福祉センター 参加者127名
『地域生活拠点の整備などは私たちの安心と安全な暮らしに何をもちたらずのか』 講師:又村 あおい氏 他
【障害理解啓発研修】10/5 対馬市 60名 11/30 佐世保市 89名 12/14 諫早市 79名 2/15 島原市 102名
講師 長崎市育成会 障害啓発キャラバン隊「長崎よかよか隊」

令和元(2019)年度収支決算概要

区 分	実施事業等会計			その他会計	法人会計	合計
	継1事業	継2事業	小計			
1 経常収益						
受取会費	0	0	0	0	4,694,000	4,694,000
正会員会費	0	0	0	0	3,984,000	3,984,000
賛助会員会費	0	0	0	0	650,000	650,000
過年度会費	0	0	0	0	60,000	60,000
事業収益	230,000	0	230,000	0	824,912	1,054,912
受取補助金等	578,036	361,980	940,016	0	0	940,016
会議参加収益	38,000	116,000	154,000	0	0	154,000
受取寄付金	0	0	0	0	50,000	50,000
委託事業費	1,822,320	3,025,000	4,847,320	0	0	4,847,320
雑収益	4	0	4	14	483,703	483,721
経常収益計	2,668,360	3,502,980	6,171,340	14	6,052,615	12,223,960
2 経常費用						
事業費	3,482,981	4,527,174	8,010,155	533,384	0	8,543,539
人件費	869,157	3,382,661	4,251,818	149,073	0	4,400,891
その他	2,613,824	1,144,513	3,758,337	384,311	0	4,142,648
管理費	0	0	0	0	3,867,348	3,867,348
人件費	0	0	0	0	1,193,501	1,193,501
その他	0	0	0	0	2,673,847	2,673,848
慶弔費	0	0	0	0	10,000	10,000
経常費用計	3,482,981	4,527,174	8,010,155	533,384	3,877,348	12,420,887
当期経常増減額	-814,621	-1,024,194	-1,838,815	-533,370	2,175,267	-196,918
正味財産期首残高						17,579,968
正味財産期末残高						17,383,050

※継1事業： 意思決定支援・事業所協議会・就労支援セミナー・本人部会・スポーツ大会

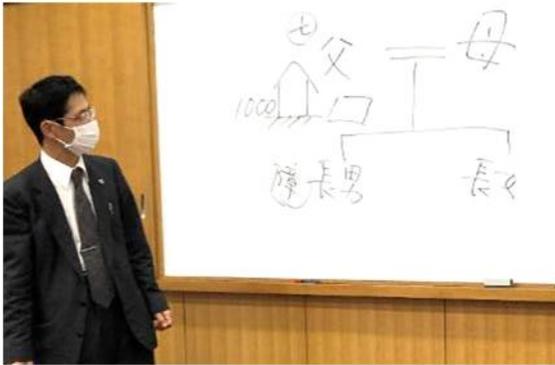
※継2事業： 役員研修会・障害者 110 番・相談員研修・家族支援プロジェクト・広報

※その他会計： 県大会・九州大会・全国大会・累犯障害者支援研修会

【お詫びとお知らせ】愛育ながさき 44 号 P.7 賛助会員に「桑の実作業所」が抜けていました。
また、普賢学園:本田尚人さんは尚久さんの間違いでした。お詫びして訂正いたします。

障害者 110 番事業「巡回無料法律相談会」

「親なきあと」の悩み相談(遺言・成年後見制度)



熱のこもった曾場尾弁護士の講話

高齢者・障害者等の権利擁護と福祉の増進に寄与することを目的とし、司法書士によって設立されたリーガルサポートを活用して、平成 21 年度から県下巡回法律相談会を開催し、5 年間で県下を約 2 周回りました。

平成 26 年度からは虐待防止の教育を受け、福祉を専門に担当されている大村さくら法律事務所の曾場尾雅宏弁護士とともに、県下を回っています。

令和元年度は松浦市、大村市、新上五島市、雲仙市、時津町の5カ所で、「親なきあと」を主テーマに、遺言・成

年後見の事例を交えて紹介、合わせて 50 名の参加と 4 件の個別相談を受けました。

会場では、家族構成・現状を述べ、成年後見人の必要性について、また、相続放棄や生前贈与、土地の名義変更などの質問があり、説明を聞いてほっとしたり、早速手続きする、という反応がありました。

「今まで、あまりピンと来なかったが、とても分かりやすかった」、「多くの人に聞かせたい。そろそろ後見人をつけようかなと思いました」という感想がありました。



時津町法律相談

ぜんち共済・生活サポート協会の保険の話

保険のお役立ち情報

市町育成会からの要望もあり、令和元年度から保険の話も加えています。ぜんち共済・生活サポート協会の保険について、入院給付、死亡・後遺障害・入院・通院・手術各保険、個人賠償責任保険、弁護士費用等補償、職業従事中事故対応費用など、プランごとに説明がありました。また、加入の条件、事故を起こしたときの補償の内容など、さまざまな質問に丁寧に答えてもらいました。



大村市法律相談



松浦市法律相談

サポート協会・高野氏(左)とぜんち共済・茂田氏

き 輝らっ人

絵画のセンスを生かして
趣味に仕事に活躍中

よしだ じゅんいちろう
吉田 淳一郎さん

就労継続支援 B 型のワークあじさいに通われている吉田さんは農園芸班に所属し、夏の暑い日も冬の寒い日も毎日、施設近くにある農園で花苗の育成作業に取り組んでいる。

そんな吉田さんの得意作業は花の寄せ植え。色や形、花の高さなど見る人の事を考えてこだわって配置している。芸術的センスが問われるとても難しい作業だが、吉田さんにとっては自分の得意分野を活かせる作業だ。

なぜなら吉田さんの趣味は絵を描くことで、施設一の芸術家なのだ。これまでも長崎市障害者作品展で市長賞を受賞、パラリンアート世界大会2019で一次審査を通過したりと、数々の作品を描いてきた。



「みんなが楽しくおもしろくみえるように」

そして今回、一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会主催の2020年度アールブリュット展で全国より寄せられた70作品の中から、入賞3作品の一つに、みごと選ばれた。

入賞作は“みんなが楽しくおもしろくみえるように”というタイトルがつけられ、花の中に空想のおばけや体の一部、ロボットが見え隠れするとても楽しい作品である。以前は水彩画をよく描かれていたが、最近はポスター用のマジックでポップな絵を描くことが増えてきた。



色・配置が絶妙の寄せ植え

吉田さんに受賞を伝えると「まさか受賞するとは思っていませんでした。どの作品を出したのかも忘れていたくらいです。びっくりもしたけど嬉しかったです。」と話されていた。また、タイトルについて聞くと「見る人によっていろんなものに見てもらえるので“みんなが楽しくおもしろくみえるように”というタイトルにしました。」と教えてくれた。

今回の入選3作品はサポート協会の2021年度パンフレット及び7月発行の「サポ協だより～シンビオシス 共生～」に掲載されるとの事なので、皆さんも絵の中に何が隠れているのか探して、吉田さんの作品を楽しんで下さい。(ワークあじさい 管理者 藤原 剛)



入賞作と吉田さん

輝らっ人に登場してみませんか？

愛育ながさきでは「輝らっ人」の記事を募集中です。あなたの周りの「きらっ」と光る人・モノをご紹介します。

文と写真を県育成会までお送りください。(文・写真は返却不可)メールも可です。

〒852-8104 長崎市茂里町 3-24 長崎県総合福祉センター県棟 4F 408 号 E-mail:info@ikusei-nagasaki.jp

知的障害児者・自閉症児者のための

生活サポート総合補償制度

(年間掛金) Aプラン: 17,000円、Bプラン: 23,000円、Cプラン: 22,000円

入院給付金 個人賠償責任保険金 葬祭費用保険金

死亡・後遺障害・入院・通院・手術の各保険金

既往症、てんかん発作など知的障害児者・自閉症児者の方が抱える様々なリスクを補償するために開発された制度です。

パンフレットのご用命は下記事務局または担当代理店へお問い合わせください。



(事務局) ながさき知的障害児者生活サポート協会

TEL : 095-845-5668 FAX : 095-845-5664

(担当代理店) ジェイアイシー九州

TEL : 092-791-7561 FAX : 092-791-7562

おすすめBプラン

★入院給付金 2日目から補償

★個人賠償 最高3億円まで補償

★ケガの入院を日額5,000円、通院を3,000円補償

《 長崎県手をつなぐ育成会行事のお知らせ 》 10月まで

行 事	月 日	場 所	概 要
長崎県手をつなぐ 育成会定期総会	6月30日(火)	長崎原爆資料館 ホール	新型コロナウイルス感染拡大防止のため (書面による決議に変更)
知る見るプログラム	7月18・19日 中止	国立 諫早青少年の家	新型コロナウイルス感染拡大防止のため (時期・会場を変更して今年度実施を検討)
知的障害者 相談員研修会	7月3日4日 中止	対馬市・佐世保 市・諫早市	新型コロナウイルス感染拡大防止のため (来年度へ延期)
長崎県大会西彼大会	9月19日 中止	とぎつ カナリーホール	新型コロナウイルス感染拡大防止のため (来年度へ延期)
障害理解啓発研修	9月26日(土) (実施する方向 で準備中)	新上五島町	13:00~16:00 予定 テーマⅠ 長崎市育成会障害啓発キャラバン隊「長 崎よかよか隊」講演 テーマⅡ 意見交換会
全国大会愛媛大会	10月3・4日 中止	愛媛県	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止
九州大会大分県大会	10月17・18日 中止	大分市	新型コロナウイルス感染拡大防止のため (来年度へ延期)
全国障害者スポーツ 大会	10月24日~ 26日 中止	鹿児島県	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止 (来年度以降大会実施を模索)
本人部会「長崎きずな」 連絡協議会	7月19日(日) 9月20日(日)	長崎県総合福祉 センター社協棟4階 中会議室	10:00~12:00 議題:「知る見るプログラム」の実施時期・ 障害者施策に関する意見を聴く会など



「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者（本人・家族）に関しての教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している月刊誌です。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。 年間 3,900円 B5版 48ページ

長崎県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

お申込みは TEL 095-846-8730 FAX 095-846-8738 へ

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんのある方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

このようなお困り事に
心当たりがある方に…

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

弁護士が
全面的に
サポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-TC06633】

0120-322-150

平日9時~17時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社トータル・サービス

〒850-0033 長崎県長崎市万才町6-35大樹生命長崎ビル5F

TEL: 095-827-7705 FAX: 095-832-2580